

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/9 (8/2との比較)	8/9 (8/2との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.27% (▲0.10)	79.95円 (▲0.93%)	+1.3% 2019年1Q	1.75%	発表された雇用統計では前月比で雇用者数が減少し失業率が悪化、その一方で住宅着工件数は市場予想を上回る内容。原油価格が下落したこともあり、カナダドルは対円で下落。世界的に金利が低下する中、国債利回りは低下。	特段注目すべき経済指標の発表はなし。米中通商問題への先行き不透明感がある中、各国中銀の緩和的な政策が継続し、世界的に低金利状況にあることから国債利回りは当面上昇しにくいと予想。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	6.33% (▲0.03)	26.80円 (▲2.23%)	+0.5% 2019年1Q	6.00%	発表された小売売上高は市場予想を下回る内容。下院が年金改革法案に2回目の可決をし、今後上院に送付する予定。中銀が海外要因による経済の下振れリスクに警戒感を示す中、レアルは対円で下落。国債利回りは低下。	登録雇用創出合計などが発表予定。引き続き年金改革をめぐる動きが期待される状況にあるが、政局の不透明感によりアルゼンチンペソが急落しており、海外要因の新興国通貨全般への影響度合いに注目。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	↓ 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.12% (▲0.18)	5.45円 (▲1.39%)	-0.7% 2019年2Q	8.25%	発表されたCPI (消費者物価指数) がほぼ市場予想通りの内容となる一方で、消費者信頼感指数は市場予想を下回る内容。新興国通貨が全般に弱含む中、メキシコペソは対円で下落。国債利回りは低下。	特段注目すべき経済指標の発表はなし。高金利通貨であり相対的に選好されやすい通貨であるとの見方は継続するものの、政治経済環境の見直しによる新興国市場全体の需給動向の変化などに注意。
	A3	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	→ 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
 ※2 国債利回りを表示 (カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年)。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
 ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
 ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高 (円安) を上向き、現地通貨安 (円高) を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
 ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
 ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
 ※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/9 （8/2との比較）	8/9 （8/2との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	0.96% （▲0.13）	71.72円 （▲1.06%）	+1.8% 2018年4Q	1.00%	発表された貿易収支は市場予想を上回る内容。中銀は政策金利を据え置く中、景気や物価見通しを下方修正し、追加利下げの可能性を示唆。国債利回りは低下。豪ドルは対円で下落。	企業景況感や消費者信頼感指数、雇用統計などが発表予定で、中国の小売売上高などの経済指標も注目。先週、中銀は追加利下げの可能性を示唆していることなどから、当面豪ドルや金利は上昇しにくいと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	1.08% （▲0.28）	68.37円 （▲1.87%）	+2.5% 2018年4Q	1.00%	発表された雇用統計では前月比で失業率が改善し、雇用者数は市場予想を上回る内容。中銀が市場予想を上回る0.5%の利下げを実施する中、国債利回りは低下。ニュージーランドドルは対円で下落。	住宅売上高や製造業PMI（購買担当者景気指数）などが発表予定。追加利下げの観測も台頭しやすい状況にある中、オーストラリアや米国など海外の市場をにらんで、債券・為替市場は一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.17% （▲0.09）	11.90円 （▲0.46%）	+2.5% 2019年1Q	1.25%	発表された鉱工業生産は前月比で減少し、CPIは市場予想を僅かながら上回る内容。国債利回りは低下。原油価格が弱含む中、ノルウェークローネは対円で下落。	消費者信頼感指数や貿易収支などが発表予定。中銀の金融政策決定会合では、引き続き他の主要中銀対比でタカ派なスタンスを保つ同国中銀の政策姿勢に変化があるかに注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/9 （8/2との比較）	8/9 （8/2との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.46% （▲0.04）	6.93円 （▲3.90%）	+0.0% 2019年1Q	6.50%	発表された鉱物生産量と製造業生産は市場予想を下回る内容。大手格付会社が国営電力会社の資本構造の脆弱さと再建策の必要性を指摘する中、ランドは対円で下落。国債利回りは低下。	小売売上高などが発表予定。2週連続で大きく下落したランドの底打ちのきっかけを探る状況にあるものの、新興国通貨全般に回避される可能性もあり、上値が重い展開が続くと予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.81% （▲0.21）	0.74円 （▲0.91%）	+5.1% 2018年4Q	5.75%	発表されたGDP(国内総生産)は市場予想通りの内容。週を通じてインドネシアルピアは対円で下落したが、5日に中銀が通貨の安定を確実にすることにコミットしていると表明し、その後は底堅く推移。国債利回りは低下。	貿易収支や国内自動車販売などが発表予定。中銀高官が緩和的な金融政策が長期化するとの見通しを示しており、国債利回りは当面上昇しにくいものの、インドネシアルピアについては引き続き底堅い推移を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.24% （▲0.01）	1.50円 （▲2.76%）	+5.8% 2019年1Q	5.40%	発表された鉱工業生産は市場予想を上回る内容。中銀が市場予想を上回る0.35%の利下げを実施。一部には不良債権やノンバンクの問題が懸念される中、インドルピーは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	CPIや貿易収支などが発表予定。足元でやや低調な動きが続く景気の改善に向けたモディ首相の政策が待たれる中、債券・為替市場は一進一退の展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

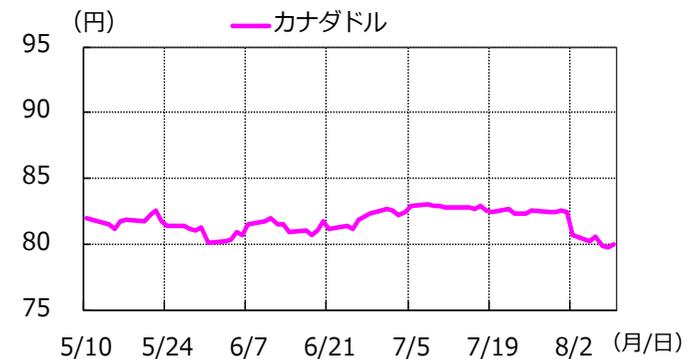
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

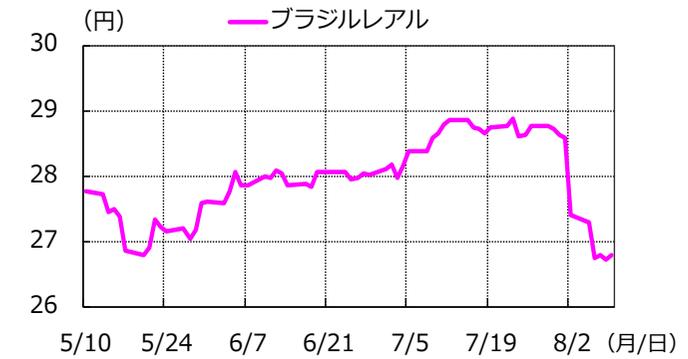
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/5/10～2019/8/9

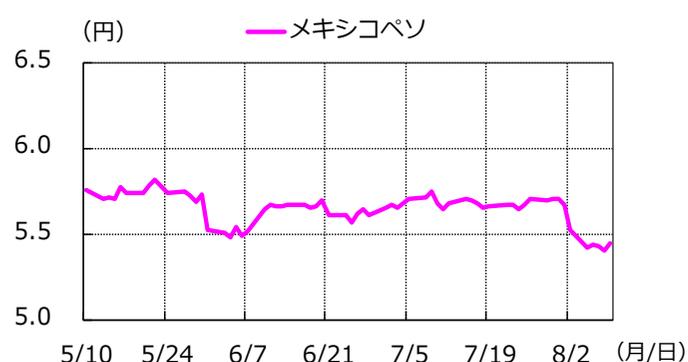
カナダ



ブラジル



メキシコ



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/5/10～2019/8/9

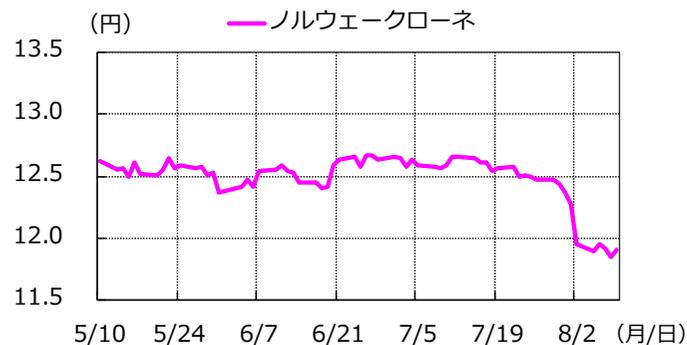
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

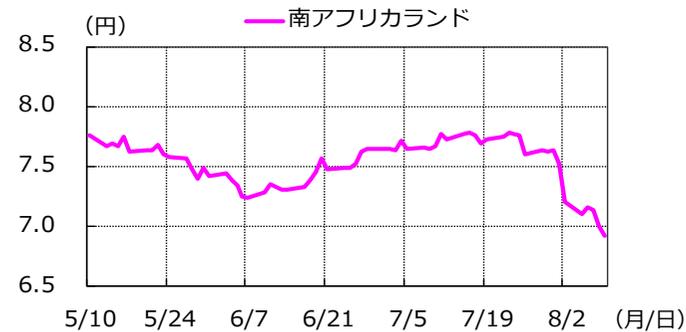


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

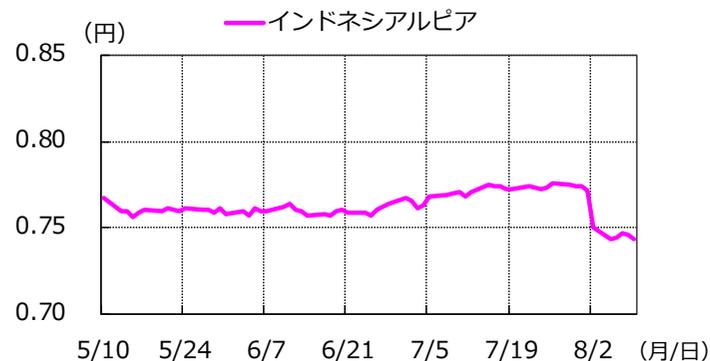
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/5/10～2019/8/9

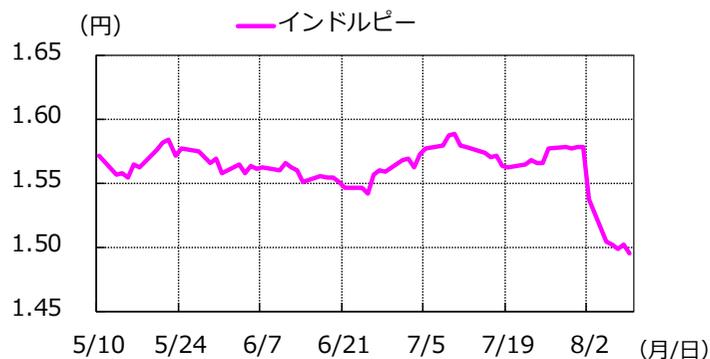
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%*（税込）

*消費税率が10%になった場合は、3.85%となります。

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.052%*（税込）

*消費税率が10%になった場合は、年率2.09%となります。

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。